



愛知県生涯学習推進センター情報誌



生涯学習情報いっぱい！「学びネットあいち」

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



携帯電話（iモード）からも情報検索できます。

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/i/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232

総合型地域スポーツクラブの活動に迫る！

Let's enjoy sports!

みんなで広げよう！スポーツの輪



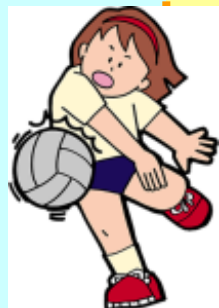
あなたは1週間で何時間くらい運動をしていますか？

いきいきと生活するために必要な“健康”を維持するためには、

適度な運動は 欠かすことができません。

いつでも 身近な施設で 楽しくスポーツに親しむことができる場で
地域の人々に提供するために立ち上がった「総合型地域スポーツクラブ」。

今回は、クラブを支える人々の活動を集めます！



▽ 鴨田スポーツクラブ（北名古屋市）



△ なかよしクラブ（三好町）

INDEX 【目次】

- 「みんなで広げよう！スポーツの輪 ～総合型地域スポーツクラブの取組～」 …… 1
- 「学びネットあいち」体験レポート …… 3
- インタビュー「この人に聞く」 …… 13
- 生涯学習支援ボランティアセンターだより …… 15
- 生涯学習情報満載！「学びネットあいち」をぜひご利用ください …… 19
- 講座・講習会・イベント情報 …… 4
- ネットワーク機関紹介 …… 14
- 生涯学習推進センターだより …… 17



教育委員会

＝特集＝

みんなで広げよう!スポーツの輪 ～総合型地域スポーツクラブの取組～

誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するために、地域住民が主体的に運営し、複数のスポーツ種目を、年齢、興味・関心、技術レベルに応じて参加できる「総合型地域スポーツクラブ」が、県内に 59 クラブ設立されています。

その中から、今回は「鴨田スポーツクラブ」（北名古屋市）と「なかよしクラブ」（三好町）の活動を紹介します。スポーツを通して、交流の輪を広げようと頑張っているスタッフの方にお話を伺いました。



＜健康は、楽しい仲間、みんなの笑顔から!＞

鴨田スポーツクラブ



△ スポーツスクールの様子

北名古屋市にある「鴨田スポーツクラブ」では、「仲間づくり」「健康づくり」「人づくり」の基本理念のもと、明るく、楽しく、そして元気に活動しています。

大人を対象としたスポーツサークル、小中高校生を対象としたスポーツスクール、子どもから大人までを対象としたふれあいサークルを開講しています。

たとえば、毎週木曜日、鴨田小学校の体育館では健康づくりサークルが開催され、軽い運動を通して健康づくりと仲間づくりをしています。このサークルでは年に数回、児童と会員が交流してお互いに健康づくりを学び合います。交流の様子はとてもほほえましく、心暖まるものです。

また、クラブでは地域との関係をととても大切にしています。地域のお祭りには積極的に協力し、運動会も学校と合同で開催します。サークルやスクールでの指導者として活躍していただく方々、イベントの企画・広報・準備に関わる方々、催し会場の設営、当日の受付や運営に携わる方々などの多くの協力でクラブは支えられています。

多くの方々がクラブの活動に携わり、クラブの関係者が地域の行事に協力することで「地域で子どもを育てる思い」を共有しています。



△ 合同運動会の様子



＜もっと知りたい方は・・・＞

1 日で終了するイベントには、どなたも参加できます。ぜひ一緒に汗を流しましょう! ⇒ <http://www.clubainet.jp/fureai/> (北名古屋ふれあいスポーツクラブホームページ)



<スポーツの楽しさ、もっと知ってもらいたい!>

なかよしクラブ

三好町にある「なかよしクラブ」では、水泳、卓球、バスケット、テニス、ソフトバレー、グランドゴルフなど、多くのプログラムを行っています。定期的なプログラムだけでなく、今年5月には子どもから高齢者まで幅広い年代が集い「カラーリング交流会」を、9月には「スポーツゲームズ in 三好」を開催しました。「スポーツゲームズ」は地域の人々がトップアスリートと一緒に様々なスポーツを体験することで、スポーツライフをより豊かにするためのきっかけとなることを目的としたものです。



△ スポーツクリニックの様子

スポーツゲームでは、小学生が6つのスポーツ体験講座から2つを選んで参加するチャレンジスポーツラリー、中学生を対象として普段行っているスポーツのスキルアップを図るスポーツクリニック、保護者や指導者を対象にした子どもの栄養学セミナーなどにも、多くの地域の方が参加されました。



△ チャレンジスポーツラリーの様子

クラブ活動に参加したみなさんは、生き生きと楽しそうに体を動かしており、中には、日頃の運動不足を解消！と、はりきって取り組む人もいます。

クラブの裏方の活動としては、講師との打ち合わせや会場準備、講座での講師補助などがあります。日頃はクラブの教室で子どもたちに直接指導しているスタッフが、イベントにおいても参加し、クラブの活動をより魅力的な活動へと発展するように協力してくれています。

スポーツは、世代を超えて笑顔で汗を流せる、そして楽しいという気持ちを共有できるものです。一人でも多くの方にスポーツの魅力を知っていただきたいと思います。

<もっと知りたい方は・・・>

イベントの様子や結果などが掲載されており、笑顔あふれるホームページです。 ⇒ URL: http://www.geocities.jp/nakayoshi_c2004/



総合型地域スポーツクラブは、県内の市町村において創設が進められています。また、クラブの活動を支援するため、愛知県では「広域スポーツセンター」を設置しています。クラブやスポーツに関するお問い合わせはこちらまでお願いします。

●愛知県教育委員会体育スポーツ課：052-954-6796（ダイヤルイン）

●広域スポーツセンター：<http://www.manabi.pref.aichi.jp/koiki/index.html>



を利用して…

愛知県生涯学習情報システム



私らしく、始めよう！生涯学習

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、自分の学習目的に合わせて、講座などの情報を検索できる他、特に学習目的が決まっていなくても、自分の予定にあわせて講座情報を検索できる“イベントカレンダー”も充実しています。この“イベントカレンダー”を使って学びの世界に飛び込んでみました！



【 再生を果たした海上の森へ！～自分の足で自然を学ぶ～ 】

街路樹も赤や黄色に色づきだした 11 月上旬、イベントカレンダーで「海上の森ツアー」を発見しました。自然の素晴らしさを感動と共に再認識した、愛知万博の閉幕から早くも 1 年が経ちました。その原点とも言える海上の森。モリゾーとキッコロが住む、この森の自然に触れたくて、ツアーに参加してみました。

海上の森は、都市近郊にありながら、多様な自然環境を有しています。かつて、焼き物の製造のための薪の採取などにより、樹木の乏しい荒廃地となったことありますが、多くの人々の努力により見事に再生を果たしたという歴史を持ちます。

当日は、「海上の森の会」の方がガイドをしてくださいました。土壌の変化に対応した植生、鎌倉時代の窯跡、自然再生へのプロセス等、実際に森を歩きながらとても分かりやすく解説していただきました。中でも印象に残っているのが、人工林と自然林が面した場所。人が手を加えるべきか、そのままの姿で残すべきか、



△森の歴史など、丁寧に説明していただきました。

深く考えさせられました。

ツアー終了後、海上の森センター職員の方にお話を伺いました。「こういったイベントを通して、もっと海上の森を知ってほしいですね。知ることで森を大切にするという気持ちが生まれると思います。当センターがそうした機会を提供する場所になればと思って活動しています」



△「これは何ですか？」と積極的に質問する77-参加者

<海上の森センター(ムーアカデミー)>

愛知万博の瀬戸愛知県館を活用し、9/25 にオープンしたばかりの施設です。海上の森の保全と活用の取組、森林や里山に関する学習と交流の拠点となる施設で、展示スペース、情報ライブラリー、研修室、工作室等で構成されています。



「海上の森ツアー」に参加して“百聞は一見にしかず”の気持ちが大切なんだと思いました。みなさんも、自分の足で、自然や文化に触れてみてはいかがでしょうか。

海上の森センターからのお知らせ

『里山のものづくり体験教室 炭焼き』の参加者募集!!



里山で得られる素材を活用したものづくりを通して再生可能な資源循環を学ぶ、里山のものづくり体験教室。今回の炭焼き体験は、その第3弾。ドラム缶の炭焼き窯を利用した竹炭づくり体験を行います。開催日は 1/27 (土)、28 (日)。参加費は無料です。

※申し込みは 1/12 (金) までに往復はがき等で。詳細は <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

この人に聞く！

ネットワークを武器に
世直しに挑む！



生涯学習に関する様々な活動をしてみえる方にお話を伺い、その方の信念や活動の源に迫ります。今回は、自らのネットワークを生かし、積極的に市民活動に取り組む、井上敏之さんにお話を伺いました。

ー 定年退職後、愛知県立大学で学ばれたそうですが、きっかけについて教えてください。

井上さん（以下敬称略） 定年を機に、かつて大学で学んだ国文学に磨きをかけるべく、県大（文学部）に研究生として入学し、古典や漢文学を学びました。翌年大学院国際研究科に合格し、当初の中世（平家物語）から近世にテーマを移し、江戸時代中期に活躍した茶人、^{ばいさおう}売茶翁の生き方に大変関心を寄せました。彼は、元禄時代の終り頃から享保の改革へ揺れる時代に、高僧（大名に匹敵）の地位・身分を投げ打って、京都の街中に茶店を開き、広く仲間・同志を集めました。自ら売茶翁サークルを活用し、詩文・絵画等文化の力で世直しを目指した生き方について学ぶうちに、彼の思想に共感し、自分も世の中のために、何かやりたいと思うようになりました。

ー 井上さんの活動の原点は、まさに「売茶翁」の精神にあるのですね。

井上 そうですね。家族の崩壊、いじめによる自殺など、さまざまな事件が起こっている今も、まさに“揺れる世の中”と言えます。これは、我々一人一人の問題です。売茶翁ほど大きな影響力はありませんが、自らのネットワークを生かして、世直しに一役買いたいと思って活動しています。

ー “人のつながり” というのは、活動をするにあたって、大きな力になりますね。

井上 私が所属する NPO 法人サンコムネットは、主に高齢者向けのパソコン教室を行っていますが、私自身は、その中の「NPO 活動情報支援委員会」という部門で活動しています。地域のために何か始めようとしている人や団体に、我々の情報やノウハウを提供することで活動を支援し、さらにその活動にジョイントすることで、より大きな成果が得られればと思って取り組んでいます。

ー 確かにそうですね。財力や人材など、団体が持つ強みは様々。お互いの利点を生かし合えば、より大きな起動力になると思います。

井上 市民活動の強さや面白さは、まさにそこにあるのです。

市民活動が活発になってきたのは、万博の影響が大きいと思います。とにかく、行政は付与するもの、市民は受けるものという意識がありますが、万博ではボランティア（リーダー）という立場ではありますが、市民がホストの一員として参加することができました。

最終日のお別れセレモニーでは、私も他のボランティア（リーダー）と一緒に、感謝の気持ちを込めて来場者の見送りをしました。ところが逆に、来場者の方から「ありがとう！」と握手され、励まされました。驚き、そして本当に感動しましたね。今でも心の中に、その時の光景が鮮やかに残っています。こういう感動が、私たちの底力になるのです。

ー 学習の中から「売茶翁」という目標を見つけ、自らの信念の実現に向けて活動している井上さん。最後にメッセージをお願いします。

井上 生涯学習とは、学ぶことで自分を磨き、自己研鑽し、それによって達成感を得ることだと思います。単なる習い事から、一歩進んで修練し、自己実現にまで高めていただきたいですね。そして、それを地域社会に還元して欲しいですね。対象は何であれ、自分自身を生かす道・場は、必ずあると思いますよ。

【井上敏之さん（NPO 法人サンコムネット広報部長・いきいき生涯学習グループ代表・愛知県立大学全学同窓会副会長）】

趣味は、山登り・サイクリング・ドライブ・読書・音楽（歌）等。売茶翁に倣って、自宅（東郷町）近くにある 153 広場内の茶店の片隅で、ギャラリーを開いています。

<http://www.ylw.mmtr.or.jp/~suncomnt/>

創立 50 年、地域に開かれた大学をめざして～名古屋文理大学～

★新しい大学像をめざして★

今日の大学は、一握りのエリートを育てることより、多くの人々に質の高い学びの場を提供することを求められています。名古屋文理大学はこうした新しい大学像をめざし、エクステンション・キャリア支援センターが中心となってその実現に努めています。

★地元に着した生涯学習の拠点★

名古屋文理大学は稲沢市に大学（情報文化学部、健康生活学部）を、名古屋市西区に短大部（食物栄養学科、介護福祉学科）と栄養士専門学校をもち、学部学科の専門性をいかして地域の皆さんの生涯学習をお手伝いしています。稲沢市では社会人奨学特待生制度を設けて「もう一度大学で学びたい」の声に応えているほか、図書館など大学施設を自由に利用できる会員制度を設けるなどして地域の生涯学習の拠点をめざしています。また秋の稲沢祭りでは市民病院と協力して栄養クリニックを開き、無料で栄養相談を行っています。

多様でユニークな公開講座を開催しています！

情報文化学部学生による「文理パソコンスクール」やフランスの古城を借り切ったの海外研修（フランス料理とお菓子づくり）、プロの声優に学ぶヴォイス・トレーニング、各界で活躍する女性たちと語らう女性の生き方講座、親子で学ぶ実用護身術、団塊の世代向け教養講座など、楽しく学べて役に立つ公開講座を多数用意しています。また名古屋栄養短大時代からの伝統を受け継ぎ、栄養士や管理栄養士の皆さんのスキルアップセミナーを行うなど、リカレント教育にも力を注いでいます。



△フランス料理とお菓子作り



△親子で学ぶ護身術



△女性の生き方講座

誰でもいつでも、学びたいときに学びたいものがそこにある。名古屋文理大学は開かれた高等教育の入り口として、皆さんのお役に立ちたいと願っています。

名古屋文理大学ホームページ ⇒ <http://www.nagoya-bunri.ac.jp/index.shtml>

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体で、随時募集しています。
詳しくは愛知県生涯学習推進センター（電話 052-961-5333）にお問合せいただくか、ホームページ(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

生涯学習 “ボラセン” だより



生涯学習支援ボランティアセンターでは、ボランティアバンクに登録していただいている方と関連するグループ・団体等を訪問し、実際に活動する様子や直接触れた生の声をみなさんに紹介していきます！

地元を“文化の街”として育て上げたい！



平成 17 年 7 月、半田市で正式に発足した「半田大衆演芸くらぶ」。事務局を取り仕切るだけでなく、「^{なごや}奈胡家ういろ」の名で落語もする榊原かおるさんは「生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座」の受講生で、修了後もアドバイザーとして講座に協力してくださっています。今回は、みなさんに笑いと感動をもたらす演芸くらぶの多彩な活動を紹介します。

演芸くらぶ創設以前から、落語をやっていた榊原さん。様々な場から「落語をやって欲しい」と声がかかったそうです。ただ、場によっては「落語以外の演芸の方が相応しいのでは？」と思うこともしばしばあり、「多種多様な演芸の元締めもやりたい！」という気持ちが強くなっていったそうです。

そんな中、現在代表を務める「^{やりたやしよちょう}槍田家志よ朝」さんを始め、芸ができる人や裏方として協力してくれる人との出会いがあり、演芸くらぶが発足することとなりました。現在会員は約 20 名、そのうち約半が芸人さんです。会員の方々の芸歴は長く、志よ朝さんは落語歴 15 年、「^{かわやがたろ}川の家河太朗」さんにいたっては落語歴 30 数年、最長は板垣さんの手品歴 50 年です。

活動の舞台は、地元の施設、デイサービス、料亭など多岐に渡りますが、今回は南知多町山海にある宝珠寺の縁日で催された演芸会に同行しました。この日、演芸くらぶからの出演は、南京玉すだれの玉ちゃん、ハーモニカの中瀬さん、落語の志よ朝さんとういろ（榊原）さん。大勢の地元の方が参拝に訪れる中、演芸会が始まり、さあ玉ちゃんの登場。最初は舞台上、途中からは境内に降り、お客さんとやり取りしながらの熱演です。中瀬さん



△ 洗い観音縁日で熱演するメンバーのみなさん

は、荒城の月など 5 曲を演奏。真っ青な空の下にハーモニカが響き渡ります。ういろさんの^{はなし}噺は「寿限無」。よく噛まずに言えるなど、聞く度に感心します。お客さんも同じ思いの様です。トリは志よ朝さんの「ぜんざい公社」。実は地元の消防士さんで、地元ネタを交えつつ、お客さんを笑わせる姿は「さすが！」の一言でした。

地元に文化を根付かせたいと、演芸くらぶは新たな活動も展開中。落語教室を主催して落語の面白さや奥深さを伝える同時に、新しい人材を育成したり、音楽部を作って新しい芸の開拓を試みたりしています。

大勢の皆さんに楽しんでもらおうと、自らの芸の研鑽を怠ることなく、新たな活動も試みる演芸くらぶ。今後の活動に大注目です！

★半田大衆演芸くらぶのホームページ
<http://htec.chitaoh.com/>

自分たちの“若さ”で地域を変える！



丹羽郡大口町で、平成 17 年 9 月に産声をあげた「桜口魂」^{おおぐちたましい}。町の自慢である、五条川沿いの「桜の花道」にちなんでこの名前をつけたそうです。中心となって活動している前田佳博さんは「愛知県地域活動推進スタッフ養成講座」の受講生で、講座修了後も、愛知県教育委員会主催事業に協力していただいています。今回は、走り出したばかりの団体について、苦労や思いを語っていただきました。

前田さんは、平成 16 年に「愛知県地域活動推進スタッフ養成講座」を受講しました。そこで、各地域で活躍する仲間の、地元に対する熱い思いや若さあふれる行動力を目の当たりにし、前田さんの中に「自分の若さを生かして、地元大口町を活性化したい！」—そんな思いが沸き起こりました。そして、地元の仲間 10 名と共に「桜口魂」を立ち上げたそうです。

結成してまだ 1 年。「町での認知度は低く、活動の場ありません。気持ちだけが空回りしている状態なんです」と苦笑する前田さん。“思い”だけでスタートしてしまったため、活動拠点も団体運営のノウハウもなく、当初は何もできないまま、月日だけが流れていったそうです。「声がかかるのを待っているだけではだめなんですね。まずは自分たちを知ってもらわないことには、活動したくてもできないということに気づきました」。それからは、PR 活動や活動拠点探しに奔走し、その成果もあってか、平成 18 年 7・8 月には子ども会のキャンプファイアのボランティア、9 月には「やろ舞大祭」の運営スタッフとして地域の行事に携わるなど、活動の場も少しずつ広がってきています。



△「愛知県青年講座」で自らの経験話す前田さん

今は、地域の行事などに積極的にボランティアとして関わることで、ネットワークづくりや団体運営、イベント企画のノウハウを学んでいる真っ最中。団体独自の活動には至っていないそうですが、夢はとっても大きいです。「『桜口魂』は“若さ”が売り。自分たちが積極的に地域の行事に関わることで、それが起爆剤となって、大口町を他の地域にも自慢できる“若者が元気な町”にしたいと思っています」。子どもを対象にしたモノづくり教室などを企画し、異年齢交流の機会を提供したいという目標もあります。「当面の課題は、メンバー一人一人の自己育成ですね」と目をキラキラさせて語る前田さん。地域を思う熱い思いを忘れず、桜に負けない満開の花を咲かせてくださいね。

つばやき ～ボラセン担当より～



今、「徒然草」が密かなブームとなっていますが、みなさんもよく知っている第 52 段「仁和寺にある法師」では、良いことをしたつもりでいたら、とんでもない勘違いだったという話がかかれています。ボランティア活動もとにかくやってみようとする人が多いですが、やはり経験者から学ぶことが多くあると思います。兼好法師の言うごとく「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり」です。センターで編集しているボランティアバンクの登録者や団体を、先達として利用するのもよいのではないのでしょうか。



「生涯学習イベントの日」を開催しました！

平成18年11月4日（土）に、愛知県生涯学習推進センターで「生涯学習イベントの日」を開催しました。講演会やコンサートの他、学習サークルによる体験コーナーやステージ発表、作品展示などが行われ、約500の方が来場し、活気にあふれた一日となりました。



名古屋大学大学院 町田健教授による講演会では、日本語の面白さや表現などについてお話していただきました。他にも、セントラル愛知交響楽団による室内楽コンサートでは、演奏だけでなく、みんなで歌を歌って盛り上がりしました。また、ステージ発表のマジックでは、妙技に歓声があがっていました。



四季の企画展～冬色染まる展覧会～

水彩画や押し花作品、水墨画など、愛知県生涯学習推進センターに登録している学習サークルが、日ごろの活動の成果を展示します。

＜開催期間＞

平成19年2月5日（月）～17日（土）

＜場所＞

愛知県生涯学習推進センター

名古屋市中区三の丸3-2-1

（地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ徒歩3分）

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/llcenter/>



いきいき♪生涯学習 ～学習サークルのご紹介～

楽しく、いきいきと生涯学習に取り組んでいる学習サークルをご紹介します。

今回は、愛知県生涯学習推進センターで活動する学習サークルです。

遊画会



△毎月、写生場所を選んで活動しています。

「遊画会」は、愛知シルバーカレッジ（A.S.C）名古屋文化学科の卒業生の中から立ち上がった同好会で、絵画を愛好し、発足以来 15 名の集いです。東山植物園や徳川園など、いろいろな場所に出かけて、みんなで和気あいあいと写生しています。私たちは、楽しく絵を描き合い、心身ともに充実した時間を過ごすことをモットーに活動しています。

エスカルゴの会



△毎月第 1、3 土曜に研修をしています。

「エスカルゴの会」は、高年大学 18 期福祉学科卒業生を中心に、パソコンを通して福祉活動を行うことを目的に設立しました。ワード、写真の加工、インターネットなどを行い、初めての人も見違えるように上達し、今では作品展に出展できるようになりました。ゆっくりとマイペースで『学び・癒し（福祉）・楽しむ』をモットーに、脳の活性化と想像力を養い、私たちの街や公共施設の問題点を行政に提言していく、そんな会を目指し活動をしています。

CAN缶アートG



△ 毎月第 3 土曜日に行っています。
参加費は材料費のみです。

アルミ缶を切り開いて、内面に文字や絵などを好きなように描いて、トントんとたたいて凸凹をつけると、七宝焼きか銀細工のような輝きをみせ、額装するとすばらしい作品に大変身！使い捨ての時代に「物」の大切さを見直し（リデュース）しながら楽しくアートし、元の形からまるで別の形に変身させる喜びを、共に分かち合う輪を広げていきたいと願っています。

今回ご紹介した学習サークルの作品は、こちらで公開しています！

<http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/gallettbl.asp>

講座・イベント情報が盛りだくさん！ ぜひアクセスしてください！

学びネットあいち



<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



講座・イベント情報を
ラクラク検索！

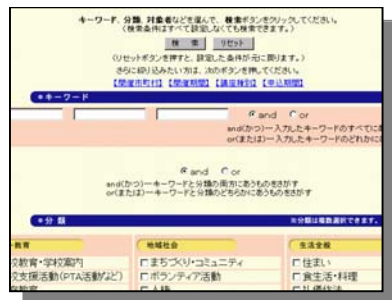
分野や開催市町村等で検索！「イベントカレンダー」を使って、日にちで検索することもできます。

作品発表や
学習者同士の交流の場！

「ギャラリー」に掲載して、自分の作品を発表することができます。他にも「まなびの広場」で学習者同士の交流をすることができます。

いつでも学べる
インターネット教材！

大学の公開講座や地域の文化財、人権教育教材などを動画で配信しています。いつでもインターネットを活用して学習することができます。



△ 講座検索画面



△ ギャラリー



△ 人権教育教材

「学びネットあいち」は、市町村や美術館・博物館、大学、NPO など、約 1,290 のネットワーク機関による情報登録で成立っています。内容をより充実させるため、情報提供をしていただける機関を随時募集しています！

★ 詳しくはこちら ⇒ <http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/bosyuu/bosyuu.html>

生涯学習情報誌「まなびいあいち」は、生涯学習に取り組むみなさんと、愛知県生涯学習推進センターを結ぶ広報誌です。「こんなことを取り上げて欲しい！」「こんな情報がほしい！」「活動を取材してほしい！」、どんなことでも結構です。ご意見等を下記までお寄せください。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 愛知県生涯学習推進センター
ファクシミリ：052-961-0232 mail：info@manabi.pref.aichi.lg.jp



生涯学習のマスコット
“マナビ”

